

高倉だより

～令和2年度 前半学校評価結果をお知らせします～

毎年、年度の前半・後半に一度ずつ、学校評価アンケートを実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。前半評価は、教育年間計画に沿った教育活動の実践の中間点検にあたります。

令和2年度 前半学校評価の取組

今年度も、評価項目については、年度当初にお配りした「高倉小の教育」リーフレットの各ページにある「評価のポイント」をもとに設定しました。それは、昨年度からの経年変化もみていきたいと考えたからです。なお、今年度もスマイル評価部会による検討会におきまして、質問項目の検討や結果の分析を行いました。



評価特集号

令和2年12月1日

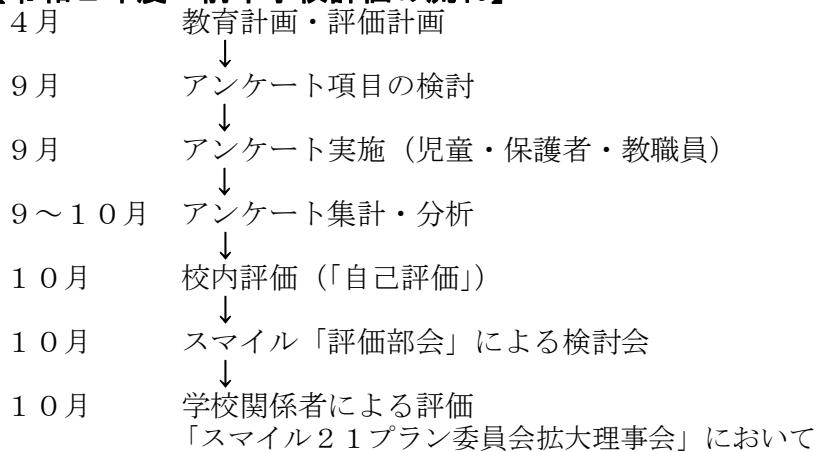
京都市立高倉小学校

学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子

豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

【令和2年度 前半学校評価の流れ】



評価項目と集計結果（R. 元後半との比較）

◎…プラス評価 90% ○…80～90% 80%未満は数字

▲3%以上上昇 ▲3%以上下落

▶5分野 21項目

▶4段階評価 (そう思う・だいたいそう思う…プラス評価)

あまりそう思わない・そう思わない…マイナス評価)

<確かさを育む教育>

	R1後半			R2前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	◎	○	◎	◎	○	◎
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	○	○	◎	○	○	◎
③ 家庭での読書	75.0%	62.2%	75.0%	73.6%	62.1%	62.9%
④ 家庭学習	◎	○	◎	◎	○	◎
⑤ 最後までやりぬく	◎	○	◎	◎	○	◎
⑥ 見通しをもって学習 (学習予定表の活用)	○	64.3%	○	○	65.1%	○
⑦ 授業中の約束守って、集中して	◎	○	◎	◎	○	◎

<豊かさ・たくましさを育む教育>

	R1後半			R2前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 学校生活が楽しい・安心	◎	○	◎	◎	○	◎
② 思いやある温かい言葉づかい	◎	○	◎	◎	○	○
③ 友達と大切にし合う	◎	○	◎	◎	○	○
④ 学校の決まりを守って行動	◎	○	◎	◎	○	○
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	◎	○	○	◎	○	○
⑥ 学校・家・地域でのあいさつ	◎	○	74.4%	◎	○	65.9%

<健やかな心と体を育む教育>

	R1後半			R2前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① すすんで外遊び	76.1%	72.2%	○	74.0%	64.1%	◎
② 食事の好き嫌いなく楽しく	○	○	◎	○	76.8%	○
③ 朝ご飯	◎	○	△	◎	○	△
④ 安全な登下校	◎	○	◎	◎	○	○
⑤ 自分の心や体を大切に	◎	○	◎	◎	○	◎

<高倉小の特色ある教育>

	R1後半			R2前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	◎	77.8%	◎	○	72.7%	◎

<学校・家庭の連携>

	R1後半			R2前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
① 先生に話をしたり相談したり	77.7%	△	◎	78.4%	△	◎
② おうちの人と話をしたり相談したり	◎	○	△	○	○	△

全体として

- ほとんどの項目でプラス評価となっている。
- 昨年度（後半）と比較すると、ほとんどの項目で「同等評価」であるが一部「マイナス評価」が見られる。

- 全項目中、最もマイナス評価傾向が強い。
- 近年、三者とも上昇傾向が見られたが、今年度は教職員の評価で下降傾向が大きかった。

- 児童の評価において「思いやりのある温かい言葉づかい」の項目で前回の結果より下降傾向が見られた。

- 児童、保護者の評価はややマイナス傾向、教職員の評価は大きくマイナス傾向が見られた。

- 児童、保護者ともにマイナス評価が増えた。
- 特に、保護者の評価でマイナス傾向が大きかった。

- 保護者の評価が4、5ポイント下降している。児童、教職員の評価もやや下がっていた。

- 児童の評価は年々上昇していたが、今回は三者とも評価が下がっていた。しかしこれはコロナ禍のため、取組が進められていなかったことが要因である。

- 児童の評価はやや上がった。引き続き先生に話しやすい環境づくりを行っていく。

アンケート結果より（三者比較）

児童
結果

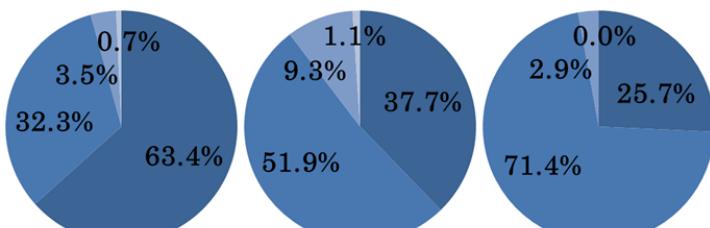
保護者
結果

教職員
結果

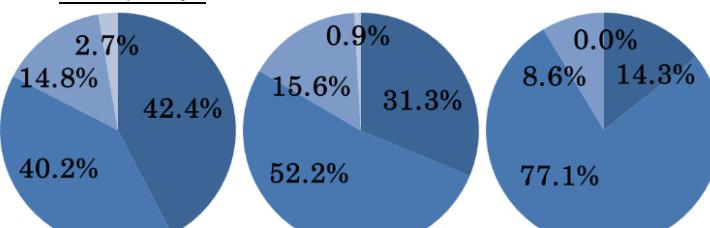
そう思う	だいたいそう思う
あまりそう思わない	そう思わない

確かに育む教育について

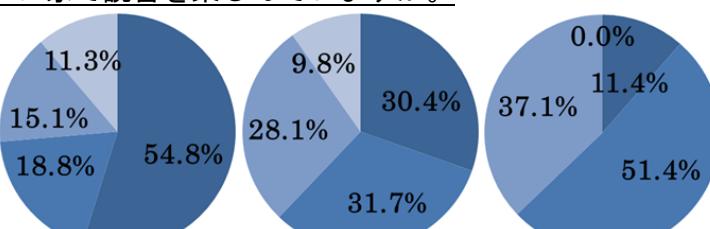
Q. 学校の勉強がよくわかりますか。



Q. 自分が思ったことや考えたことをすすんで伝えていますか。



Q. 家で読書を楽しんでいますか。



今年度も「学校の勉強がよくわかる」の項目においてはプラス評価が95%を超える高評価となりました。日常的に読解力の育成を重視し、日頃から自分の考えを記述する場面を意図的に授業の中で確保するよう努めていることの成果が表れていると考えられます。一方、「自分の思いや考えをすすんで伝え合っているか」の項目では83%とやや低い評価となっています。本校の課題として、自分の考えを、根拠をもって相手にわかりやすく話したり、話の中心を明確にしてわかりやすく伝えたりする「話す力」があげられます。今後は、授業の中で、目的をはっきりさせた話し合いの場を設定するなど、主体的・対話的で深い学びのある学習を進めていく必要があります。

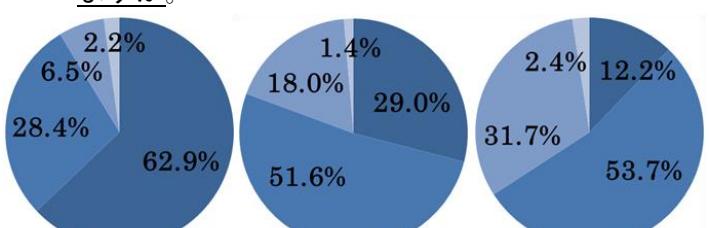
読書については、毎年話題にあがりますが、今回も他の項目に比べると低い評価となっています。これは、習い事や塾等で家庭での読書時間が確保しにくいことが原因ではないかと考えられます。今後も日頃の学校での取組、スマイル21プラン委員会での取組、PTA図書室と歩む会の取組などをきっかけに読書への意識が高めていきたいと思います。学校関係者評価では、「新型コロナウイルス感染症予防対策のための学校休業があったため、読書の機会は増えてもよいと考えられるが、それほどでもないようだった。家庭での読書習慣がついているのかどうかも今後検証していく必要がある。」「家庭読書は家庭環境によると思う。親が本を読む姿を見せることが大切だ。」といった声をいただきました。今後も家庭読書の大切さを伝えていきたいと思います。

スマイル21プラン委員会「読解部会」では、今年度は、「お気に入りの一冊をあなたへ」作文コンクールに組んでいただきました。また、PTAの「図書室と歩む会」では、今年度、図書館の環境整備に加え、感染症予防のための消毒作業等にも取り組んでいただいています。

11月には読書月間として「本の福袋」の取組や子ども達のビデオによる読み聞かせ会を行いました。

豊かさ・たくましさを育む教育について

Q. 学校や家、地域ですすんであいさつができますか。



「あいさつ」については、以前に比べると高い評価となっています。しかし、学校休業後の子ども達はなかなかあいさつができないという状況が見られました。また、する子、しない子の固定化や目を見てのあいさつができない子がいるなどの課題があります。また、教職員や保護者など大人が見本となる気持ちのよいあいさつがいつでもできているか、もう一度省みる必要があります。

学校関係者評価でも「地域に限定してみてみると、まだまだできていない。マスクもし、大声を出してはいけない中、『元気にあいさつ』というのは子ども達にとってもなかなか難しいことだと感じるし、子ども達も混乱しているのではないか。」といったお声をいただいております。

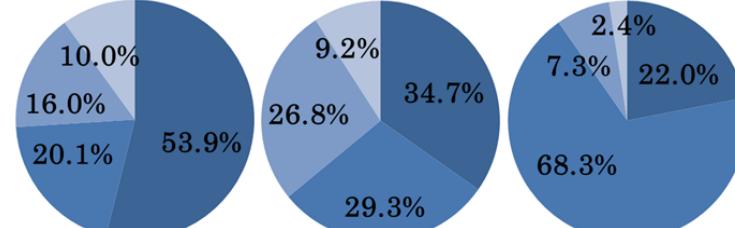
学校では、もっとあいさつができる高倉小学校にするために、児童会を中心となり「なかよしあいさつリレー」の取組を始めています。異学年交流をしながら学校の様々な場所で気持ちのよいあいさつを行っています。



学校・家庭・地域、三者で
子どもたちの豊かな育ちの
実現を！

健やかな心と体を育む教育について

Q. すすんで外遊びをしていますか。



学力だけでなく、体力向上や食・健康への意識も大切です。



「進んで外遊び」の項目では、児童、保護者の評価で下がっている傾向が見られました。これは新型コロナウイルスの感染拡大により、外に出る機会が失われたことによると考えられます。また、好き嫌いについても保護者の評価が下がる傾向が見られました。こちらも休業期間が続き、家庭で食べる機会が増えたことで、家庭での子ども達への食の指導の難しさを感じておられる結果が反映されていると考えられます。学校関係者評価でも「学校と家庭が連携を図りながら食に対する意識を高めていきたい。」「共に知恵を出し合って、コロナ禍の中でできることを模索していきたい。」という声をいただきました。

休業中や学校再開についてのご意見

今回の学校評価アンケートでは、新型コロナウイルス感染症予防のための休業中や学校再開についてのご意見を自由記述欄として回答いただきました。その中で、複数あったご意見を一部紹介させていただきます。

- 学校の感染症対策や配慮、努力に感謝しています。
- 学校が休業になり、学校の存在の大きさを再確認しました。
- You Tubeの動画配信は、楽しく拝見できました。
- 休業期間中の課題は適度な量で助かりました。
- 行事が少なくなったことが残念です。○学習の遅れが心配です。
- 休業期間中の課題が多くなった。○体を動かす機会が減ってしまいました。
- 休業期間中、ゲームをする時間が増えてしました。
- 休業期間中の課題を一緒に取り組むことは負担でした。
- 家庭での生活習慣や学習習慣が乱れてしまいました。
- 教室が暑い。○7時間授業は大変そうです。
- オンライン化、ペーパーレス化を進めて先生の負担を減らしてほしい。
- オンライン化の必要性やIT化の遅れを感じています。
- コロナに対する差別やいじめについて不安があります。
- 共働きの家庭への配慮が感じられません。

たくさんのご意見ありがとうございました。コロナに関する自由記述のほか、自由記述欄に書いていただいたことを全教職員が読ませていただいております。いただいた意見を今後の高倉教育に生かしていきたいと思います。

